

## はじめに

この報告書は 2017 年度の小関ゼミ 3 年生による 1 年間の調査研究をまとめた報告書です。小関ゼミでは数名で 1 つのグループを作り、グループ単位で調査研究のテーマを決め、団体を訪問してインタビューを行ったり、文献資料を収集したりして調査を行っています。

2017 年度は、「スポーツ」「文化」「インフラ」「音楽」の 4 グループができました。一見すると、この 4 つは互いに全く関係ないテーマのように見えますが、いずれも「地域活性化」という共通項を持っています。“スポーツを通じた地域活性化”のように、地域活性化へのアプローチを念頭に置いています。具体的にどのようなテーマに焦点を当てるのか、どの調査対象を選ぶべきか、かなり悩み、グループ内で議論を重ねました。年度当初に想定していたことから、結果的にはかなり違う方向に進んだグループもありましたが、そのプロセスがとても大事なことだと思います。

学期中は東京周辺の地域に調査に出かけていきました。訪問先は、教員から指示されるのではなく、すべて自分たちで調べ、連絡を取り、アポイントを取って、手土産も用意して訪問し、記録を作りました。

夏休みに行うゼミ合宿は、各グループの調査活動の一部に位置づいています。今回は 9 月中旬に 2 泊 3 日で、京都を中心に関西圏に合宿に行きましたが、各グループはそれぞれ自分たちのテーマに沿って別々の訪問先にアポイントを取り、インタビューに出かけていきました。行動範囲は、京都府（京都市・向日市）、大阪府（東大阪市）、奈良県（橿原市）、兵庫県（神戸市・養父市）と 2 府 2 県にまたがる広いものとなりました。

また、それぞれのグループが行っている調査の成果を、9 月末の中間報告会と、12 月の最終報告会でプレゼンテーションしました。これらの報告会は、ゼミ内部だけに限定せず、立教大学コミュニティ福祉学部の藤井ゼミ・原田ゼミ、明治大学政治経済学部の大高ゼミと小関ゼミの 4 ゼミ合同で開催しました。非営利・協同や地域活性化の分野に関心を持つゼミの学生が互いに良い刺激を与えあう場となりました。このプレゼンテーションのスライドを、本報告書に掲載してあります。

こうした調査とプレゼンテーションを踏まえて仕上げたのが、各グループの報告書です。

この報告書を仕上げるまでには、かなり苦労があったことでしょう。でも、この 1 年間を通して、資料の調べかた、訪問先へのアポイントの取りかた、スライドや報告書の書きかたなど、ゼミ生は多くのことを身につけました。

学生の調査活動に際して、訪問先の各団体、役所、企業の方々には、ひとかたならぬお世話になりました。この場を借りまして、厚く御礼を申し上げます。学生の教育にご協力いただき、本当にありがとうございました。

2018 年 1 月

明治大学 経営学部  
准教授 小関隆志

## 小関ゼミ 1年間の歩み

2017年4月 3年生としてゼミ活動スタート。12名（男10・女2）

グループに分かれてテーマを決め、資料を集めながら、東京周辺での調査活動を始めました。



教室での活動のようす

9月13日～15日 ゼミ合宿。京都を中心に、グループ単位で各地を訪問しました。



京都新阪急ホテル  
ロビーにて

9月30日 中間報告会。立教大学の藤井ゼミ・原田ゼミと合同で行いました。それぞれのグループが活動内容を発表したほか、グループワークで交流しました。



立教大学池袋キャンパスにて  
グループワーク

12月10日 最終報告会。立教大学の藤井ゼミ・原田ゼミ、明治大学政治経済学部の大高ゼミと合同で行いました。それぞれのグループが活動内容を発表し、聞き手が採点して、入賞したグループにはささやかな表彰をしました。皆さんよく努力しました。終了後は、合同で懇親会を開きました。



立教大学池袋キャンパスにて



12月19日 忘年会。最終報告会も終わり、後は報告書を完成させるだけ。3年生のゼミ活動も、そろそろ終わりが見えてきた頃です。小関はこの日、思いがけなく誕生日プレゼントをもらいました。ありがとう。幹事さんお疲れさまでした。



2018年1月16日 ゼミ最終日。報告書を提出し、1年間の活動の締めくくりです。4年生になると卒業論文に取り組みます。

